

CONTENTS

- P1...新クリーンセンター準備工事始まる
- P2...ごみから学ぶワークショップ広場報告
- P4...クリーンセンターと私/目立たない地域のシンボル/エコなおつまみ

武蔵野クリーンセンター 運営協議会 だより 56

武蔵野クリーンセンター運営協議会とは
1984年施設建設時に地域住民の安全と権利を守るために設置された
周辺住民3団体が参加するクリーンセンター運営の監視役。



クリーンセンターをめぐる地域の方々の思いや声を
を連載します。一番手は、クリーンセンター建設時に
クリーンセンター建設特別市民委員会の副委員長をさ
れた安藤頌子さんです。

クリーンセンターと私① クリーンセンターにおもうこと

吉祥寺北町五丁目 安藤頌子

多くの関係者の見える、そして見えない努力の積み重ね
で、担当する事業者も決まり、新しいクリーンセンター建
設への道が大筋見えてきました。

今は昔、35年も前のことになりましたが、ときの後藤
市長から市議会に「市営プール地(北町5丁目)を武蔵野市
のごみ焼却場に作る」と報告があり、地元は大騒ぎ。その
頃「東京には青空がない」といわれるほど人口・排ガス・ご
みなどの急増で、都は「自区内処理」を打ち出します。時代
の趨勢、市長も焼却場(三鷹市新川)周辺の住民の強硬な反
対などに迫られ、市内処理場の約束をしていました。「文化
都市武蔵野にふさわしい焼却場を市民参加で決める」こと
を打ち出し、市内世論も総論は圧倒的。その中で「市民参
加で決め直そう」という声が届いて次の藤元市長により「ク
リーンセンター建設特別市民委員会」(清掃対策市民委員会
提言)が設置され、紆余曲折を経て、市が示した4候補地
の中から現在の場所が示されました。

議論を尽くし、委員会として貴重な時間を基礎的勉強に
あてたり、委員会編集の市報特集号を作成したり、徹底し
た議論を重ねて合意点を探ったりは、市民参加の枠組みが
あったからこそそのことでした。今、近隣市のごみ処理場ト
ラブルを見るにつけ、ごみ減量をすすめる市ぐるみで
自区内処理に取り組んだことは正解でしたね。

さて、新施設がらみで、以下のことが気になります。
①ごみの減量 ②新クリーンセンターに関して全市的な議
論・関心の喚起 ③工場部分の移動による周辺地域の設定
の再検討 ④施設設備・運営の今後20年に及ぶ落札事業
者への目配り・行政との連携 ⑤運協参加団体の補強(現在
参加以外の周辺の町会、コミュニティ協議会、クリーンむさ
しのを推進する会支部など)

目立たない地域のシンボル

現クリーンセンター建設時、ごみ処理場に対し
て周辺住民には大きな抵抗がありました。毎日見
ることになる煙突はなるべく目立たないよう、強
い要望がありました。

煙突のデザインには周辺住民の願いが込められ
ています。昭和57年のクリーンセンターまちづく
り委員会(寄本勝美委員長)の第1回提言にも、「煙
突は、武蔵野市のシンボルタワーとして、他市に
ないユニークさをもち、かつ第1回提言対象地
のランドマークとして安心感(毎日見ても気にな
らないというコンセプト)を与えるものとする。形状
は角型とし、色調は青磁色と白に近いグレーを基
調とした横ストライプとし…」と細かく記されて
います。煙突のデザインや今後の進め方について、
合宿までして時間をかけ議論されました。デザ
インは、業者提案の3案(いずれも茶系の縦縞)はど
れも不評、特に縦縞に抵抗が大きく、斎藤邦彦氏
(注)により、周辺住民の意見をヒアリングして横
縞のデザインになりました。煙突の足下は樹木を
植え煙突のイメージを和らげるようになりました。

現在の煙突を見て、多くの
住民が「空に吸込まれるよう
なデザインで気にならない」
と言います。周辺住民と行政
が十分話し合った、市民参加
の証とも言えます。今後は、
現在の煙突を補強して再利用
され、デザインは建物に合わ
せ変更されますが、住民参加
の施設・周辺整備協議会で周
辺の意見も聞き検討します。



注：建築家。八太郎道氏(まちづくり委員会の委員、ごみ熱分解のエンジニアリングコ
ンサルタント会社社長)の紹介で煙突のデザインを手がける。

エコなおつまみレシピ 万能割り下で野菜炒め

作りおきの割り下で冷蔵庫の残り物も無駄なく使い、ごみ減量を!

●作り方
人参、ごぼう、ピーマンなど残り野菜
を千切りにしてサッと炒め、割り下、だ
し汁、鷹の爪で味付けし、できあがり。



●割り下(すき焼き用たれ)の作り方
材料/しょうゆ 121本・みりん 121本・砂糖 500g
材料を鍋に入れ加熱、砂糖が溶けたら1~2分程弱火
で沸騰させ、できあがり。すき焼き、煮物、丼物など、
幅広く料理に活用できます。冷めたら使ったしょうゆ
とみりんの空き容器に入れて常温で保存します。

編集後記
今号より「クリーンセンターと私」をテーマに寄稿をいた
だくことになりました。どうぞご期待ください。ごみ減
量への強い関心と努力を保持しつつ、水分をしっかりと切っ
て、1gでもごみを減らす取組みを今後とも粘り強く継続
しましょう。(狩野耕一郎)

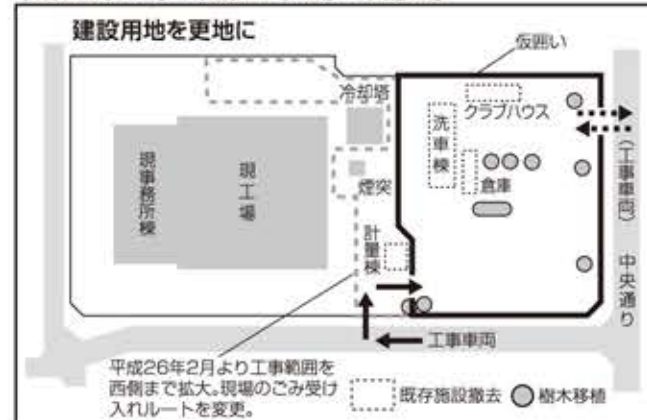
編集・発行/武蔵野クリーンセンター運営協議会
〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5 武蔵野クリーンセンター内
電話:0422-54-1221
●武蔵野市ホームページ
http://www.city.musashino.lg.jp/

*この広報は、再生紙を使用しています。

新クリーンセンター(仮称) 準備工事始まる

11月初めに周辺地域で工事説明会が行われ、新ク
リーンセンター(仮称)の準備工事が始まりました。来年度から
工場建物の本工事に入り、平成29年4月に工場が完成し
稼働開始し、続いて現工場の解体工事、新管理棟建設、
煙突の補強、現事務所棟の啓発施設への改修、周辺整備
等、平成31年6月に完了する予定です。ごみ処理は、新
工場稼働まで現工場で行うので、滞ることはありません。
今後、工事の経過に応じた安全対策が望まれます。

平成25年11月~平成26年4月 準備工事

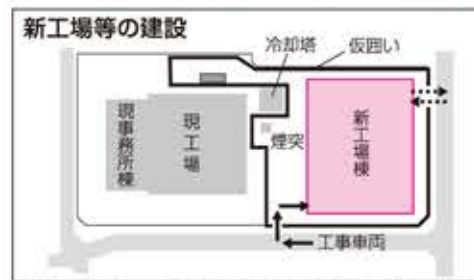


新施設の建設用地に仮囲いを設け、既存施設(クラブハウス、洗車場、
倉庫など)の撤去や既存樹木の移植・撤去を行い、更地にする。

準備工事のスケジュール

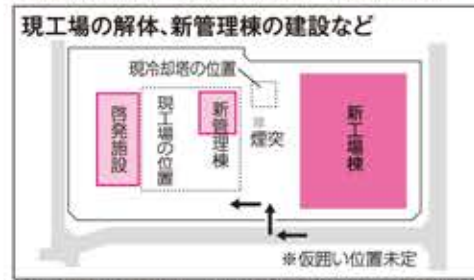


平成26年5月~平成29年3月 第1期工事



地下、地上、プラントの工事を同時平行で行う。
新工場棟の建設工事を行う。

平成29年4月~平成31年6月 第2期工事



新工場棟の稼働後、現工場を解体して、新管理棟
の建設を行う。新工場棟と新管理棟を結ぶ連絡
通路を設置。煙突を耐震補強。現事務所棟とプラ
ットホームは、環境啓発施設にリニューアルする。

●工事に関する連絡先 (市)武蔵野クリーンセンター 0422-54-1221 担当:木村・三浦・馬場・神谷・平松 (代表企業)在原環境プラント建設統括部 03-6275-9484 担当:佐藤
(構成企業)鹿島建設東京建築支店 042-527-5133 担当:小川・小森 ※現場事務所は11月末に設置予定。

8月31日(土)、まだ暑い夏休みの終わりの日に、武蔵野クリーンセンターで、ワークショップを中心にごみから楽しく学べるイベントを開催し、約400名の来場者でにぎわいました。

ごみから学ぶ

ワークショップ広場

ワークショップを多くの方に体験していただくために、スタンプラリーを実施。スタンプを集めるとクリーンセンター特製ボールペンがもらえます。また、おもちゃのかえっこに使えるカエルポイントがもらえるブースもあります。

いろいろな作って楽しかったよ

ワークショップ

小さな空きびんと古い油でろうそく作り。クレヨンを溶かして混ぜて色を付け、それぞれのオリジナルキャンドルに仕上げます。大人も子どもも女性達に大人気でした。

廃油でキャンドル作り



色とりどりのキャンドル。芯を付けて熱を冷ませば、できあがり。防災時にも役立ちそう。

牛乳パックで竹とんぼづくり 空き容器でがらくた楽器作り



風力発電の工作と音を感じるワークショップ チョキチョキ発電かざぐるまの工作&心で感じる体験学習



ハサミで切り取った風車のプロペラに絵などを描き、チョキチョキ発電かざぐるま(風力発電機)を組み立てます。風車を「風」で回すとLEDが点灯し、風の力が電気に変わることを実感します。



クリーンセンターの樹木で工作

協力/ぬくもりプロジェクト
クリーンセンター敷地内のさまざま樹木を使って工作をします。



子どもたちが自分で体験できる催しが多くて楽しかったです



おもちゃのかえっこ

おもちゃを持ってなくても大丈夫。参加すればかえるポイントがもらえるワークショップもあります。

- おもちゃのかえっこに参加する方法
- ①ポイントカードを受付してもらいます。いらなくなったおもちゃを受付でかえるポイントにする。
- ②会場にある好きなおもちゃを選ぶ。おもちゃにポイントを表すシールがついています。
赤=1ポイント 黄=2ポイント 青=3ポイント
- ③好きなおもちゃを交換所でチェックしてもらいます。



おもちゃ病院

協力/日本おもちゃ病院協会
壊れたおもちゃをおもちゃドクターが直します。重症のおもちゃは入院して、後日返却されます。



ディキシーランドジャズ
演奏/竹内さんバンド
おもちゃのかえっこことカフェの会場では、ごきげんなパンジョーとクラリネットのライブ演奏を楽しみました。



工場見学

わあ、すごい！ごみが燃えている
クリーンセンターのごみを処理する流れを見学。親子連れや子どもたちが大勢見学しました。



カフェ
協力/クリーンむさしの推進する会



お茶わんリユース 生ごみ活かす君の展示

協力/クリーンむさしの推進する会
生ごみを資源化する「生ごみ活かす君」とできた堆肥で育てた野菜を展示。
いらぬ食器を持ち寄って、好きな食器は持ち帰れます。

防災コーナー



エコランドとは、子どもたちが遊びながら環境に関する知識や情報に触れられる環境学習遊具。環境すごろくや分別ゲーム、もぐってもぐってなど、子どもたちは次々に挑戦。

